

期待していない

172人

- 医療=産業と扱わないでほしい
- 今の政権に実行力がないから

期待している

310人

- 日本の将来が不安でたまらないので、その可能性に期待したい
- 需要・供給ともに増加は歴然としており、そこに力を入れることは必然である

どちらともいえない

597人

- 判断に必要な十分な情報をまだ入手していないから
- 大きな利益につながる海外の患者ばかりが優遇されるのでは

高齢者の増加による医療需要の拡大や医療ツーリズムによる外貨獲得などを根拠に、政府が成長産業の一つと位置づける医療分野。あなたは、その可能性にどれくらい期待していますか？

医療を成長産業と期待する声がある一方、政府に対する不信を示す意見も多数



海外への雇用流出や長引く円高などで、日本経済には閉塞感が漂っている。現況を打破すべく、2010年6月に閣議決定された新成長戦略のなかには、環境・エネルギー・大国戦略(グリーン・イノベーション)、アジア経済戦略、観光立国・地域活性化戦略などとともに、ライフ・イノベーションによる健康大国戦略が示されている。具体的には医薬品や医療・介護技術の研究開発推進、国際医療交流(医療ツーリズム)などを通じて、20年までに医療・介護・健康関連サービスの需要に見合った産業育成と雇用の創出を図り、新規市場約50兆円、新規雇用284万人を達成することが目標として掲げられている。

今回は、医療が成長産業となれるのかについて、患者1000人の意識調査を行った。結果は、約3割がそうなることを「期待している」と回答。「期待していない」と答えた人は15.9%で、「どちら

ともいえない」という人が全体の半数以上の597人に達した。

それぞれの選択肢を選んだ理由を尋ねたところ、「期待している」と答えた人では、「日本の将来が不安でたまらないので、その可能性に期待したい」などの声があった。「どちらともいえない」では、「大きな利益につながる海外の患者ばかりが優遇されるのでは」といった懸念や、「今はまだわからない」などの意見が多く見られた。「期待していない」と答えた人の理由では、「医療=産業と扱わないでほしい」などの回答が寄せられた。

また、「どちらともいえない」「期待していない」に共通して、「政府に期待できない」といった理由が多く見られた。

◆病院の通信簿とは
 会員数30万人、1日平均アクセス数2万件を誇るマンモスサイト。匿名の患者アンケートから待ち時間、医師の印象、看護師の態度、待合室の快適度など、医療機関を15項目ごとに5段階評価し、「リーダーチャート」にまとめてネット上に掲載。日本人になじみの深い通信簿形式で注目を集める。
<http://www.tushinbo.com/>